

# 「HIV 感染者における CT で評価された胸腺の退縮と CD4/CD8 比率の検討」 について

HIV 感染者は抗ウイルス治療により、非感染者と遜色ない寿命を達成できると考えられております。しかし、抗ウイルス療法中の HIV 感染者においても免疫系の異常が残存することが知られており、CD4/CD8 比率はそのマーカーとして知られています。HIV 感染者では、主に T リンパ球異常が生じますが、胸腺は T リンパ球が成熟する臓器で、胸部 CT で大きさを評価できます。これらの関係について、わが国でのまとまったデータはありません。本研究は、東京大学医科学研究所に保存されているカルテや検査の情報を調べることで HIV 感染者における胸腺と免疫異常の関連を明らかにすることを目的としています。

## 1. 対象となる方

1996 年～2020 年 3 月に当院にて診療を受けた HIV 感染患者さんで何らかの理由で胸部 CT を撮影した方

## 2. ご協力頂きたいこと

ご協力頂きたいことは診療情報（胸部 CT 検査、血液生化学検査など）を調査させて頂くことです。通常の診療で得られる情報のみを用いるため、患者さんに本研究のために新たに行っていただくことはありません。

## 3. 個人情報保護の方法

本研究に用いる診療情報は研究用 ID を付けて匿名化し、研究用 ID と個人情報を記した対応表はインターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科の鍵のかかるキャビネットにて厳重に保管します。

## 4. 研究期間：2017 年 7 月 14 日～ 2018 年 3 月末日

## 5. 研究参加の辞退について

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。但し、辞退の連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文等で公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承下さい。

## 6. 問い合わせ窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科 佐藤秀憲

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

TEL:03-5449-5338, FAX:03-5449-5427

E-mail: hidsato@ims.u-tokyo.ac.jp